

大学入学共通テスト始まる

青森県内4083人が挑戦

本格的な入試シーズンの幕開けとなる大学入学共通テストが18日、2日間の日程で全国一斉に始まった。青森県は昨年より38人少ない4083人が出願し、八戸学院大や八戸工業大など8会場で試験を実施。初日は大きなトラブルなく日程を終えた。

（上條哲洋、加藤弘也）

8会場、大きなトラブルなし

今回は高校の新しい学習指導要領に対応した最初の試験で、従来の6教科30科目から新教科「情報」を加えた7教科21科目に再編。全国で49万5171人（前年比3257人増）が出願し

青森県内の科目別受験者数と受験率 第1日
志願者数 4083人

地理歴史・公民 (受験率)	国語 (受験率)	外国語(筆記) (受験率)	英語(リスニング) (受験率)
3556人 (87.1%)	3816人 (93.5%)	3859人 (94.5%)	3851人 (94.3%)

※受験率は小数点第2位を四捨五入。地理歴史・公民は、1科目受験者と2科目受験者の合計数

た。出願者のうち、高校などを今年卒業予定の現役生が86.0%を占め、既卒者13.1%、高校卒業程度認定試験（旧大検合格者など）が0.9%となっている。

初日の教科は地理歴史・公民、国語、外国語。外国語の英語を選んだ場合はICプレーヤーを使ったリスニングも行った。

八戸学院大の会場では午前9時になると、真剣な表情で着席する受験生を前に試験官が注意事項を説明し、問題や解答用紙を配布。同9時半から試験が始まった。

県内の各会場では大きなトラブルはなかった。八戸工業大の会場では英語のリスニングを行った際、ICプレーヤー1台の不具合があり、交換した上で試験を再開した。

10日は理科、数学、情報の試験を行う。青森地方気象台によると、同日の県内は曇りや晴れの予報だが、下北や津軽は所によって雨や雪が降り、雷を伴うこともあるという。